



学校教育目標 「よりやさしく よりかしこく よりたくましく」

～ 笑顔で登校 笑顔で下校 夢に向かって頑張る二小っ子～

No. 9



3 学期を迎えて

校長 黒木 博寿

新年明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

早いもので、今年度も 3 学期を残すのみとなりました。私にとっても、定年まであと 3 か月。新型コロナウイルス感染症が全国的に広がりを見せています。いつ、どこで、どのような経路で感染するか分からない状況の中で、不安を抱えながらのスタートになりますが、感染予防対策を万全にし、山積する様々な課題に対して職員一丸となって、真っ向から立ち向かっていきます。保護者や地域の皆様方のご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

<日に新た>松下幸之助「この日この朝」より



心静かに年が明けて、心静かに新年の計を立てる。そんななかでも大事なことは、今年が去年のままであってはならないということ、今日は昨日のままであってはならないということ、そして明日は今日のままであってはならないということである。万物は日に新た。憂き事の感慨はしばしにとどめ、去りし日の喜びは、これをさらに大きな喜びに変えよう。立ち止まってはならない。今日の営みの上に明日の工夫を、明日の工夫の上に、あさつての新たな思いを。そんな新鮮な心を持ち続けた

1 月 8 日 (金) の朝 (3 学期始業式の日)

1 月 8 日 (金) の天気予報で、大雪・路面凍結等が出されていたので、前日からその対応をどうするか、市教育委員会と協議しながら準備を進めて、始業式の日を迎えました。気温が低く、とても寒かったのですが、外に雪が降った形跡もなく、積雪も見られませんでしたので、ホッとすると同時に、今日の始業式が予定通りに実施でき、子どもたちにも久しぶりに会うことができるなという気持ちになりました。

始業式では、次のようなお話を子どもたちにしたところです。学校と家庭が同じ方向を向いて、頑張っていければと思います。

3 学期始業式の校長の話より

○昨日からの寒波の影響で、雪が降る予報が出ていましたが、雪がちらちら降るくらいでした。しかし、とても寒い朝を迎えました。登校指導で久しぶりに皆さんに会いましたが、寒さに負けず、元気に笑顔で登校する皆さんの様子を見て、とても「たくましく」なったなと感じましたし、今日から始まる 3 学期を頑張ろうとする皆さんの気持ちが伝わってきました。3 学期も、コロナに負けず、寒さに負けず、元気に過ごしましょう。
(次ページに続く)

○新しい年を迎えました。皆さん、明けましておめでとうございます。新型コロナウイルス感染症が拡大していますが、皆さんにとって2021年が、いい年でありますようお願いしています。

○皆さんは、どんな冬休みを過ごしましたか？コロナの影響で、静かに家で過ごすことが多かったのではないのでしょうか。この冬休みの間、交通事故に遭ったり、けがをしたりしたという連絡もなく、皆さん、自分の命をしっかりと守り、元気に過ごしてくれたのではないかと思います。

○さて、今日から3学期です。3学期は、52日間しかありませんが、とても大切な学期です。

そこで**3学期のキーワードは、「0(ゼロ)」**。

○3学期は、これから話す、3つの0を意識して、頑張りましょう。

○まず、1つ目の「0」は、『**3学期は0学期である**』。

・3学期は、これまでの学習や生活のまとめの学期であると同時に、次の学年の準備をする学期です。例えば、6年生は4月から中学生ですね。中学生になってから準備を始めても間に合いません。3月までに計画的に準備を進めていくことが大切になります。他の学年の人たちも、次の学年に向かって、計画を立て準備を進めていきましょう。

○2つ目の「0」は、『**欠席ゼロにこだわる**』。

・3学期は、学校に来る日が短いので、1日1日を大切に過ごすことが大切になります。そのためには、規則正しい生活をして健康に気を付け、欠席を少なくすることです。その積み重ねが「欠席0の日」にもつながりますので、皆さんで頑張りましょう。

○3つ目の「0」は、『**いじめ、仲間外しを0**』。自分がされて、言われて嫌なことは友達も嫌です。逆に、優しい言葉をかけられたり、助けられたりしたら誰でもうれしいものです。いじめ、仲間外しをせず、友達と仲良く過ごして、毎日が楽しくなればいいですね。

○3学期のスタートにあたって、3つの「ゼロ」についてお話をしました。

3学期もたくさんの笑顔が見られることを期待しています。

○これで、お話を終わります。

～交通事故に注意を！～

年末の12月31日、天気予報で寒波の影響で降雪の予報が出ていました。朝から車には薄っすらと雪が付いていましたが、ひと安心。また、夜になると道路が凍結していたり、降雪の恐れがあったので、昼間、太陽が出ているうちに実家に帰るため、家族で大口市経由で車で移動。大口市から人吉市に向かう途中に「九七トンネル」の手前にさしかかった付近で、道路に雪があったので、2車線の右側の車線をスピードを落とし、走行していました。その左側の車線を軽トラックが走行していましたが、右車線に入ろうとされた瞬間に、軽トラックが横滑り、蛇行。タイミングがずれていたら、私の車に衝突したかも……。私の車の後ろにも何台かの車が来ていたので、驚かれたのではないかなと思いました。いつ、どこで、交通事故が起こるか分かりません。「ハンドルを握った瞬間から危険が隣り合わせ」ということを肝に銘じ、安全運転に心掛けようと思いました。運転するときは、時間と心にゆとりを。

※楽しみにしていた「どんどや」も、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止となりましたので、お知らせします。